

教育センター通信

ほど 火床の火の心を紡ぐ

第2号（通算第41号）
平成29年5月24日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



三条祭り 傘ぼこ行列
(5月15日、裏館小)

～子どもたちに「学園アイデンティティ」が芽生えるように～

小中一貫教育推進課長 高橋 誠一郎

人口減少社会の到来が地域のこれまでの特色に大きな影響を与え始めたのではないかと推察します。地域性の変化は子どもたちの地域への帰属意識の崩壊というアイデンティティークライシスを引き起こす可能性があります。さらに、高度情報社会の影響とあいまって、地域と隔絶した個人主義的生活が子どもたちの社会性に負の影響を与えかねないとも懸念しています。

この度の「新学習指導要領」はこれらの状況を打開することをめざすものでもあると考えます。改訂の趣旨の一つに次の内容があります。「教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する『社会に開かれた教育課程』を重視。」という内容です。

三条市の小中一貫教育は全面実施から5年目を迎え、今年度は学園体制がスタートしました。学園を包括する地域と共に、学園・学校はそれぞれの地域の教育資源を生かした教育課程をさらに深化・発展させる準備を整えました。同時に、2つの学園の7つの小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールのモデル校となりました。その他の学園・学校もコミュニティ・スクールの設置をめざし、社会と共有し、連携する開かれた教育課程を充実させる準備を進めることとなります。

三条市の学園・学校は地域と共に特色ある教育課程を編成し、子どもたちが笑顔で生き生きと学園・学校生活を営む姿をめざしています。子どもたちの学園に対する帰属意識が深化し、新しいアイデンティティが芽生えてくれるものと考えています。言わばその「学園アイデンティティ」が地域を活性化し、地域で生きる子どもたちの「未来を切り開くための資質・能力」を育成する基盤となると確信しています。

今年度も各校のご要望に応えます「オーダーメイド訪問」

平成28年度より、授業支援訪問をリニューアルし、各学校からの様々なご要望に応える「オーダーメイド訪問」を始めました。この訪問は、中学校区計画訪問や学習指導訪問と異なり、各学校の要請によって実施するものです。昨年度は、下記のようなオーダーを受け、延べ73回の訪問をさせていただきました。

- ・校内研究授業、協議会、指導案検討等
(国語、社会、算数、理科、生活、英語、特別支援教育)
- ・講義、演習、講話等(特別支援教育、道徳、小中一貫教育)

今年度もすでに多くの学校より要請をいただいております。是非ご活用くださいますようよろしくお願いいたします。

小中一貫教育推進課 支援スタッフと担当教科等

<教育センター指導主事>



大西統括指導主事
音楽



池田指導主事
社会・生活



土佐指導主事
理科



小林指導主事
英語・外国語



武井指導主事
国語



小川囑託指導主事
算数



長谷川囑託指導主事
理科



星野囑託指導主事
算数



渡邊囑託指導主事
理科



高田囑託指導主事
算数

<指導担当指導主事>



本多統括指導主事
社会・生活



小田指導主事
体育



熊倉指導主事
社会



田村指導主事
社会・特活

要請から訪問までの流れ

- ① 学校は、学園担当指導主事に大まかな内容、希望日等を伝える。
- ② 実施の可否、実施日、訪問を担当する指導主事の決定。
- ③ 学校は、訪問を担当する指導主事に内容の詳細を伝える。
- ④ 訪問。 ※学園単位の訪問も可能です。

「学びのマルシェ」がもうすぐ始まります

さんじょう一番星事業の一つとして実施している「学びのマルシェ」が4年目となりました。学力を高めたいと希望する子どもたちが自分に適した教室を選び、少しずつ学力をつけていく取組です。学校の授業プラスアルファの学習により、これまでたくさんの子どもが笑顔になっていきました。今年度の受講生数は、これまでで最も多い267名となっています。



教室は全部で5種類です。(中学生4種類 小学生3種類)

学習塾講師による指導 <日曜日の午後> ※現在107名

◆講義形式の授業が基本です。

トップランナー教室	中学1・2年生	国語 数学 英語	会場：教育センター ※無料送迎バスあり (市役所発嵐南小経由)
エキスパート教室			
トライアル教室	小学5・6年生	算数	

6月4日(日)の開講式から3月11日(日)まで36回実施します。

トライアル教室の授業時間を昨年度よりも15分延長し、より充実した学習を行います。

教員OB・ボランティアによる指導 <土曜日の午前> ※現在160名

◆テキストを使った自学自習が基本です。質問がある場合に指導員さんから教えてもらいます。

ステップアップ教室	中学生 小学5・6年生	数学 英語 算数	会場： ① 第一中・嵐南小 ②一ノ木戸小 ③教育センター(栄庁舎) ④下田公民館 ⑤井栗集会所
プラスワン教室			

5月27日(土)の開講式から3月10日(土)まで30回実施します。

四つ葉学園地域に会場を増設しました。中学3年生も受講できるようになりました。

◇年間を通して申し込みができます。申込用紙は三条市のホームページからダウンロードできます。

受講生募集に際しての先生方からのご尽力、そして会場校においては運営にあたりご協力をいただき、大変感謝申し上げます。これからもよりよい事業とするために、改善を加えながら実施していきます。先生方からのご意見やご要望をお聞かせください。

おめでとう！「和釘大使」第2号誕生



三條市には、金物、和釘、三條マルシェ、カレーラーメン、ヒメサユリ、千年悠水、三條夏祭り、本成寺鬼踊りなど、自慢になるものがたくさんあります。昨年度(3月)、裏館小学校の3年生は“三條の自慢”をテーマにポスターセッション発表会を行いました。その中に三條鍛冶道場での「和釘づくり学習」後、授業で和釘づくり体験や和釘について調べた内容がありました。学習参観日に鍛冶道場の館長さんを2回お招きし、お家の方にその成果を発表しました。地元の産業について学んだ成果を広めてもらおうと、その熱心で積極的な取組に対して三條鍛冶道場から「和釘大使」として任命されることになりました。今から4年前(2013年)の三條小学校以来のことです。「和釘大使」第2号の誕生です。

4月26日(水)裏館小学校(全校朝会)での「和釘大使」の任命式では、各クラスに学級集合写真入りの「和釘大使任命書」と3年生全員に「バッジ」が贈呈されました。館長さんからは、「総合的な学習の時間の『調べてきた“三條の自慢”を発表しよう』では、各班で調べたテーマについて意欲的に発表することができました。金物のことと和釘のことを丁寧に分かりやすく説明していました。特に和釘のことは、三條鍛冶道場での『和釘づくり学習』の体験が生かされて素晴らしい内容のものでした。今後は、『和釘大使』として三條の和釘や金物のことなど『三條の自慢』を広く社会に宣伝してくれることを期待します。」と、励ましのお言葉をいただきました。

教育センターでの「刃物・ものづくり教育」の取組が、今後も一層三條市の児童生徒のみなさんの学習の支援となるよう努めていきたいと思っております。



今年度の「刃物・ものづくり教育」がスタート！



年度始めのご多用の中、「刃物・ものづくり教育」の実施に係る各種文書(申込書、スクールバス利用許可申請・運行計画表、鍛冶道場利用許可申請書、実施計画書等)の提出で各校の担当者にはご負担をお掛けしました。小中交流活動で「合同小刀学習(竹箸づくり)」を計画したり、学習参観日に保護者の方々と共に体験する計画をしたりする学校など、それぞれに工夫が伝わってきました。今年度は、より活動が充実するよう「木工用工具学習」で、学習がスタートする前に学校担当者と建築組合の方々等とで打合せをもちました。

せ会をもちました。

この1年間、また「和釘づくり学習」「小刀学習」「木工用工具学習」「包丁研ぎ学習」の活動を通して、ものづくりへの興味・関心を高め、その楽しさを実感してほしいと願っています。そして、三條の「ひと」や「もの」と触れ合い、関わり合う中で友達と活動することに喜びを感じたり周りの人々に感謝したりする心が育ち、あわせて、ものづくりのまち三條のよさを知り、「ふるさと三條」を愛し誇りに思えるようになってほしいです。今年度のトップバッターは、第二中学校の「木工用工具学習」です。

《平成29年度「刃物・ものづくり教育」の概要》

	小 学 校		中 学 校	
	和釘づくり学習	小刀学習 (含:ふれあいルーム)	木工用工具学習	包丁研ぎ学習
学 校 数	20校	21校	9校	9校
学 級 数	33学級	43学級	27学級	27学級
参加者数	809人	1,070人	815人	839人
実施学年	3年生:2校 4年生:2校 5年生:14校 6年生:2校	3年生:12校 4年生:13校 5年生:1校 6年生:1校 中学生:2校	1年:9校	1年:3校 2年:5校 3年:1校
講 師	三條鍛冶道場の職人の方々	シルバー人材センターから派遣された方々	三條市建築組合から派遣された大工さん	シルバー人材センターから派遣された方々
実施場所	三條鍛冶道場	各 校	各 校	各 校

竹とんぼ:12校
竹箸:9校
鉛筆削り:3校